

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第五小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ワークテストの結果、平仮名については70%の習得率に達している。濁音・半濁音は定着しているが、促音が抜ける児童は各クラス30%程度いる。(拗音や長音、助詞「は」「を」「へ」については学習したばかりのため、今後、習熟を図っていく。) 個別に音読を聞いた結果、自分のペースで音読をすることができるようになったが、語句をまとまりで音読することに課題がある児童がいる。 本の読み聞かせをしてもらうことが好きな児童は多いが、アンケートの結果、読書をする習慣に差が見られる。 物語文や説明文を読んだとき、特定の語句や場面に興味を引き付けられ、断片的に読む児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> モジュールの時間に、平仮名や助詞の表記を取り上げたプリントを活用して、習熟を図る。(目標習得率 平仮名100%・助詞90%以上) 学習の中で継続的に音読することで、楽しみながら反復練習をする。また、個々の音読の状況を児童自身が把握できるように、家庭学習を継続する。 どの児童も読書をしようという意欲を高めるために、読書カードを書いたり、お勧めの本の紹介をしたりするなど、主体的な活動を取り入れる。 物語文や説明文の学習をするときには、場面を分けて大きなまとまりで捉えることで、叙述に即して読めるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ワークテストの結果、5や10のまとまりで数を認識することに課題がある。 ワークテストの結果、繰り上がりや繰り下がりがない足し算・引き算については、ブロック操作を必要とする児童が約5%いる。 1学期は、文章題で立式する際に、個別の声掛けなどの支援を必要とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックを操作したり、図を描いたりする活動を通して、まとまりで数を数えたり、数の合成や分解をしたりすることに慣れ、数への認識を確かにする。(目標習得率90%) 計算カード等を使って習熟する時間を継続して設定する。 子供が図を描いて説明したり、事象から問題を作ったりするなど、理解していることを表現する活動を行う。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 20mシャトルラン及びソフトボール投げの結果は、男女ともに都の平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びでは「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付け、運動には楽しさや喜びがあることと、体力の向上につながっていることを体験を重ね、運動に親しむ児童を育成する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の授業では、花や昆虫の観察の際に、観察したことを言葉や絵を用いて表現することに課題があった。 興味がある内容について教員に質問したり、図鑑で調べたりする活動に意欲的な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> いきなり表現するのではなく、始めに観察するものを全員で見ながら、色・形・大きさ・数・以前と比べて違うこと等、気付いたことをペアや全体で交流して観察の観点を確認し、その特徴の表し方について具体的に示す。 身の回りの自然や地域、人や物と関わる体験的活動を行うことによって、気付いたことや思ったことを交流する機会を増やす。また、図鑑などの図書資料や、タブレットを使ったインターネットで調べる活動も積極的に取り入れていく。